

聴 打 診

「兵は拙速を尊ぶ」とは言うものの…

理事 長谷山 俊 之



マイナンバーカードとやらが発行されるようになって久しくなるが、小生にとっては「マイナンバーカードの目的って何？」という疑問が未だに解決できて

いない。ネットで見える限りでは、1.国民の利便性の向上、2.行政の効率化、3.公平・公正な社会の実現を目的としているらしいが、少なくとも、小生の記憶では、カードの交付が開始された当初、主に給与のやり取りとか、経済活動に使用されており、マスコミでも「大事なカードですから、あまり持ち歩かないように」とか言っていた気がする。またカードを持つかどうかは義務ではなく、あくまで任意だったはずである。

ところが、いつの頃からか保険証やら免許証やらと一体化させようという動きが出始め、あれよあれよという間に、保険証の廃止は、ほぼ決定。「僻地に住んで、IT 関係に疎い高齢者はどうすんだろ？」とか思っているうちに、行政からは「さあ～、保険証はなくなるから、今のうちにカードリーダーと、顔認証システム導入しないと、補助金出さないよお～、補助金出たところで、足は出るけど、気にしないでねえ～」とのお言葉。

小生の場合、在宅とか施設とかでの診療も

多いため、カードリーダーとか、顔認証システムなんぞを担いで持っていくわけにもいかず、どうしたものかと思っていると、「マイナンバーカード作れない特別な事情がある人は、資格証出すから使ってねえ～」って…だったら、保険証は残し、段階的に切り替えていけばよくないか？ さらには、行政は“人生会議”とやらで、“住み慣れたところで、最期を迎える”事を唱えており、その内、モバイル端末が一般的になったら何とかなるんだろうが、それまでは、どうやって保険診療するの？

そして、それと並行するように起こったのが“コロナ禍”。当初は重症化し、致命的となるリスクも高く、診療に当たっては「動線を切り離し、厳密にゾーニングを」とのことで、これは、医学的に当然の事なのだが、個人クリニックの“発熱外来”保険診療として診るようになってみると、ゾーニングしようと思えば、マイナンバーカードなんか使えない。診療所のシステム端末は一個が受付だけにあるのだから。幸い、当時はマイナンバーカードを保険証として使う人は、ほとんどいなかったため、混乱は起きなかったのは、僥倖というしかあるまい。

こういう事を書くと、いかにも小生がマイナンバーカードを保険証として使用すること

に反対だと思われるかもしれないが、決してそういうわけではない。やり方によっては、非常に有益なツールになると思っている。例えば、転職、退職に伴う保険証変更の返戻も少なくできると予想できるし、同意さえ得られれば、薬歴も見られるし健診データも見ることができるという事には、非常に魅力を感じる（もっとも、直近の薬歴が反映されるまでには時間がかかり、この点では、現行の“お薬手帳”に軍配が上がるな）。

現在、マイナンバーカードを保険証として使用する人は、1割にも満たないと聞く。個

人的な考えだが、当初のマイナンバーの目的である、国民の利便性の向上、行政の効率化がどこかへ行ってしまい、マイナンバーカードを保険証として使うことが目的となっていないか？ 孫氏の兵法には、“兵は拙速を尊ぶ”との言があり、あれこれと机上の空論を重ね続けるより、思い切って運用してみるのも、一つの考え方ではあるが、せっかく高いポテンシャルを持った魅力的なシステムが、普及を急ぐあまり、トラブルを起こし、一般人（特に高齢者）に不安を与え、普及しないというのは、きわめて残念でならない。



第6回 理事会

6月27日(木)
午後6時45分
秋田市医師会館

出席 湊会長 熊谷副会長 木村議長 鈴木
副議長 田中 藤枝 長谷山 及川
濱島 稲見 山崎 小松 柴田 三浦
豊田 亀岡 平山各理事 橋田・向島
監事

1 会長あいさつ

梅雨に入りましたが天気がよい日が続いています。明日は30℃を超える予報となっているようです。今年をご存じのように暖冬で雪もあまり降らなかったのも、このまま空梅雨だと水不足にならないか心配しています。最近では児童生徒のスポーツ大会の開催も多く、先日も大会終了後にコロナに感染した子どもがいました。やはり、部活内で感染者が出るとそれなりの人数が感染してしまいます。ここ数年見ていてもこれから夏にかけて流行していますので、注意が必要と思います。

2 報 告

(1) 会員の退会について

－濱島理事－

退会 おの 小野 いわお 巖 先生（自宅会員）

異動月日：令和6年6月30日

所 属 班：泉外旭川班

(2) 令和6年度在宅医療・介護に関する市民講演会

－長谷山理事－

6月15日（土）午後2時・秋田拠点センター
アルヴェ 2階 多目的ホールで開催。参加者：

155人。準備した席数よりも多くの方から申し込みがあり、席を増やして対応した。

(3) 令和6年度秋田赤十字病院第1回地域医療支援委員会

－湊会長－

6月20日（木）午後6時30分・ホテルメトロポリタン秋田で開催。赤十字病院における血栓回収療法の展望と、令和5年度地域医療支援病院承認要件の実績報告等があった。

(4) 社保指導事前打合せ

－藤枝理事－

6月24日（月）午後6時30分

対象医療機関：1 医療機関

6月25日（火）午後6時30分

対象医療機関：1 医療機関

上記日時において、対象医療機関の社保指導事前打ち合わせ会を行った。

(5) 秋田県総合保健事業団令和6年度第1回評議員会

－木村議長－

6月24日（月）午後6時30分・秋田県総合保健センターで開催。議題は、令和5年度事業報告及び決算報告と理事の選任など。令和5年度は人口減少、コロナ後の影響から事業規模はやや縮小したが、若干の黒字決算となった。

今回組織外より柴田一宏弁護士（柴田一宏法律事務所長）が新たに理事として選任された。

(6) 秋田市在宅医療・介護連携推進協議会 第1回在宅医療連携部会

－長谷山理事－

6月26日(水)午後6時30分開催。議事「在宅医療・介護連携推進事業における4つの場面ごとの取組」の①優先的に取り組む課題と評価指標、②具体的な取組について、それぞれ話し合った。

(7) 東北厚生局及び秋田県による社会保険 担当者の個別指導

－藤枝理事－

6月27日(木)午後1時30分 秋田第二合同庁舎

対象医療機関：2医療機関(うち1件新規個別指導)

上記日時において、東北厚生局及び秋田県による社保個別指導が行われた。

(8) 講演会「新型コロナ感染対策セミナー in 秋田」開催に伴う後援依頼について

－濱島理事－

ファイザー(株)から依頼の標記について、同講演会は日本医師会生涯教育講座の単位として認められる予定であることから、依頼を承諾することとし、回答したので報告する。

同講演会は本年7月30日(火)午後7時からホテルメトロポリタン秋田(オンライン併用)において開催予定である。

(9) 市民健康フォーラムの後援依頼(名義 使用)について

－濱島理事－

秋田市長から依頼の標記について、過去5年以上にわたり承諾していることから、今回の依頼も承諾することとし回答したので報告

する。同フォーラムは令和6年10月12日(土)午前11時から秋田拠点センターアルヴェ 2階 多目的ホールにおいて開催予定である。

(10) 6月17日(月)に行われた秋田市議 会での一般質問について

－田中理事－

前回の理事会で飯牟礼克年議員と意見交換する機会があり、大変有意義であったと報告したが、その後、6月17日(月)に開催された秋田市議会で、飯牟礼克年議員から「子育て世帯・若者支援について」一般質問がなされたので、概要を報告する。

飯牟礼議員の質問は、「秋田市は子育て世帯に寄り添った十分な支援ができているのか、また、妊婦・小児の検査やワクチン、医療にかかる自己負担が大きいことから、市として負担軽減を図るべきと考えるがどうか」というものであった。秋田市からは、「これまでの取り組みについてと、今後も子育て世帯の負担軽減を図りながら、子どもを産み育てやすい環境作りに努める」との答弁があった。子育て政策について、これまで取り上げた議員は少なかったので大きなインパクトがあったと思われる。

(11) 秋田県医師会 新役員打ち合わせ会

－藤枝理事－

6月26日(水)午後5時からANAクラウンプラザホテル秋田で開催。1)会務分担、2)2024年度主要行事予定、3)役割の業務について、それぞれ協議した。詳細については秋田医報に掲載の予定である。

3 協 議

(1) 第2回都市医師会長協議会について

－湊会長－

7月24日（水）午後3時より秋田キャッスルホテルで開催される標記について、本会として案件がある場合は、事務局まで連絡することとした。

(2) 秋田市医師会各種委員会委員について

－濱島理事－

標記に関する案が提出され、協議した結果、原案のとおり了承された。

(3) 外部団体各種委員会等委員の推薦について

－濱島理事－

外部団体から依頼があり本会から推薦している委員会の委員について、任期満了または、本会の役員改選による業務分担の変更に伴い協議を行った。推薦委員一覧表の案が提示され、原案のとおり了承された。

(4) 秋田県医師会からの情報提供依頼について

－濱島理事－

秋田県医師会から会員名簿作成に際し、本会役員等の業務分担等について情報提供依頼があった。協議した結果、提示された原案どおり回答することとした。

(5) 秋田市との懇談会の追加案件について

－濱島理事－

標記会の追加案件について協議した。案件1)「大規模災害マニュアルについて」、2)「5歳児健診について」の他、新たに「带状疱疹ワクチン接種費用の助成について」を案件と

することとした。

(6) 令和6年度秋田県医師会医学奨励賞並びに中村記念賞候補者の推薦について

－濱島理事－

秋田県医師会長から依頼のあった標記について協議の結果、医学奨励賞候補者として渡邊理子先生（秋田赤十字病院）を推薦することとした。なお、中村記念賞については推薦者なしとすることとした。

(7) 令和6年度秋田県医師会保健功労者の推薦について

－濱島理事－

秋田県医師会長から依頼のあった標記について協議の結果、推薦者なしとすることとした。

(8) 令和6年度環境・保健事業功労者表彰(知事表彰) 候補者の推薦について

－濱島理事－

秋田県健康福祉部長から秋田県医師会長を通じて依頼のあった標記について協議の結果、推薦者なしとすることとした。

(9) 令和6年度公衆衛生事業功労者の推薦について

－濱島理事－

日本公衆衛生協会理事長・秋田県健康福祉部長から秋田県医師会長を通じて依頼のあった標記について協議の結果、推薦者なしとすることとした。

(10)「第53回医療功労賞」候補者の推薦について

－濱島理事－

標記について協議の結果、候補者が挙がらなかったことから、次回理事会で再度協議することとした。

(11) 令和6年度第15回ひまわり健康家族教室における講師の推薦について

－濱島理事－

秋田市学校保健会会長から依頼のあった標記について協議の結果、稲見理事を推薦することとした。

(12) 第47回医療を考えるつどいの開催候補日について

－田中理事－

標記会の開催候補日が示され、協議の結果、2月9日（日）、11日（火・祝）、16日（日）を候補日とし、広報委員会で決定することとした。

(13) 秋田市医師会報「巻頭言・聴打診」執筆役員について

－小松理事－

標記案が提出され、了承された。

(14) 秋田市医師会立秋田看護学校学則施行細則の一部改正について

－湊会長－

「在籍料」を納付金の種別に加えること、施設整備費等負担金の額を5万円から7万5千円に引き上げ、名称を運営維持費に改めることについて、協議の結果、承認することとした。なお、施設整備費等負担金に係る改正規定については、令和7年度に入学する学生からの適用とする。

(15) 会員の入会について

－濱島理事－

勤務 宇佐美 修 悦 先生

（消化器外科・診療部長）

勤務先：秋田厚生医療センター

入会月日：令和6年7月1日

所属班：秋田厚生医療センター班

勤務 小 澤 政 豊 先生

（腎臓内科・科長）

勤務先：秋田厚生医療センター

入会月日：令和6年7月1日

所属班：秋田厚生医療センター班

4 閉 会

第7回 理事会

7月11日(木)
午後6時45分
秋田市医師会館

出席 湊会長 石川・熊谷副会長 木村議長
鈴木副議長 田中 藤枝 長谷山 及
川 濱島 稲見 山崎 小松 柴田
三浦 豊田 千田 平山各理事 橋
田・向島監事

1 会長あいさつ

今日は久々に午後から天気が良く暑いくらいでしたが、ここ2日ほど激しい雨が降り続きました。去年の豪雨災害の記憶があるのでとても心配していたのですが、大ごとにならずに済んでよかったと思っています。昨年、豪雨の影響で歩道が崩落した中通の旭川沿いの県道もやっと開通しましたが、未だ歩道は工事しています。竿燈までに工事が完了すればよいと思いますが、このようにまた集中豪雨があると、この1年でどのように対策が進んだのか非常に気になるところです。市民としては対策が目に見えないというところが少々不安なところです。

いつもコロナの話題になりますが、先ほど調べてみたところ全国ほとんどの都道府県で感染者数の上昇を示すマークがついていました。ぜひ皆様も気をつけて今後の診療に当たっていただければと思います。

2 報 告

(1) 会員の退会について

－濱島理事－

退会 ^{はっ} ^{とり} ^{その} ^こ
服 部 苑 子 先生

(秋田厚生医療センター、研修医)

退会月日：令和6年7月31日

所 属 班：秋田厚生医療センター班

退会 ^あ ^べ ^{とよ} ^{ひこ}
阿 部 豊 彦 先生

(阿部クリニック)

退会月日：令和6年8月31日（8月1日から31日は自宅会員）

所 属 班：駅東班

(2) 秋田市予防接種健康被害調査委員会

－湊会長－

6月28日（金）午後7時・秋田市保健所で開催。新型コロナワクチン関係の3例について検討した。

(3) 第1回消化器がん検診委員会

－及川理事－

7月1日（月）午後6時45分開催。委員長に笹原秀明先生、副委員長に稲葉宏次先生を選出した。

令和5年度大腸がん検診・対策型胃内視鏡検診結果について、受診対象者は101,048人、受診者は15,895人、受診率は15.7%、令和6年6月現在で大腸がんと診断された方は19人と、保健所担当者から報告があった。

対策型胃内視鏡検診は452人の申込があり、実際の受診者は371人だった。異常なしは71人、その他の所見298人、二次読影後の要精検者は2人、胃がんと診断された方はいなかった。

協議1）令和6年度の大腸がん検診は例年通り6月から翌年の2月まで実施。対策型胃内視鏡検診は定員500人に対し402人の応募があり、全員に受診券を送付するが、定員に達していないため8月21日から9月30日まで二次募集を行う予定である。

協議2)今年度の消化器がん検診研修会について検討し、秋田大学大学院医学系研究科消化器外科学講座助教の渥美振一郎先生を講師に招き9月25日(水)秋田市医師会館で開催予定である。

(4) 第4回会報編集委員会

－小松理事－

7月3日(水)午後6時45分開催。引き続き委員長に平野勝介先生、副委員長に木村愛彦先生を選出した。

8月号の聴打診は長谷山理事、春夏秋冬は平野勝介先生の執筆を予定している。

(5) 新入開業会員オリエンテーション

－熊谷副会長－

7月5日(金)午後6時30分開催。松田芳教先生(新屋透析泌尿器科クリニック)の開業オリエンテーションを行った。

(6) 「第53回医療功労賞」候補者の推薦について

－濱島理事－

秋田県医師会長から依頼の標記について、前回の理事会に引き続き協議することとしていたが、他団体の推薦状況を考慮し、今回は推薦者なしと回答したので報告する。

(7) 日本消化器病学会東北支部 第95回市民公開講座後援依頼について

－濱島理事－

秋田厚生医療センター院長から依頼の標記について、後援を承諾したので報告する。同市民公開講座は、10月19日(土)午後1時30分から、さきがけホールで開催予定である。

(8) 本会ホームページの現状について

－豊田理事－

委託業者に3月中のホームページリニューアルを依頼していたが、未完成で再三の催促をしたが対応していただけず、7月に委託業者と面談を行った。面談後に委託業者から提示されたホームページを確認したものの不完全な状態だった。今後の対応は医師会事務局と委員会とで検討していく。

(9) 秋田市保健所との話し合い

－石川副会長－

6月21日(金)午後4時開催。秋田市医師会大規模災害対策マニュアルの改訂については、委員会の決議を経て既に理事会でも承認を得たところであるが、秋田市側の事情で市とのすり合わせができていなかった。先日、市から秋田市災害時医療救護マニュアル(仮称)を提示いただき、その内容について副会長の石川と、村田元理事が意見を出し、市のマニュアルの内容についてを検討してもらっていた。今回はその結果をふまえ、秋田市側と石川が直接意見交換を行い、秋田市医師会としての活動の範囲、県との連携のあり方、救護所のあり方、地域災害医療コーディネーターなどについて医師会側の要望を伝えた。ただ医師会のマニュアルについても時間軸を県や市のものと一致させてほしいことなどを要望されたことから、若干の改訂が必要になる。このため医師会のマニュアルの最終完成には時間がかかる見込みで、8月の市との協議を経てからになると思われる。

3 協 議

(1) 秋田市医師会各種委員会委員について

－濱島理事－

標記に関する案が提出され、協議した結果、
原案のとおり了承された。

(2) 顧問との懇談会について

－濱島理事－

協議の結果、標記会を開催することとし、
案件については次回の理事会で再度検討する
こととした。

(3) 令和6年度西予市お伊ネ賞「全国女性 医師部門」候補者推薦依頼について

－濱島理事－

日本医師会長から秋田県医師会長を通じて
依頼のあった標記について協議の結果、推薦
者なしとすることとした。

(4) 一般社団法人秋田市手をつなぐ育成会 賛助会員継続のお願いについて

－濱島理事－

秋田市手をつなぐ育成会会長から賛助会員
継続の依頼があった。協議の結果、今年度も
引き続き賛助会員として5口（1口3,000円）
支援することとした。

(5) 救急病院に関する更新申出書について

－濱島理事－

秋田市保健所長から依頼のあった標記につ
いて協議の結果、更新申出書が提出された病
院を救急病院として妥当であると判断し、そ
の旨回答することとした。

(6) 医療機関職員永年勤続表彰者の決定に ついて（追加）

－山崎理事－

今回の永年勤続表彰者として、新たに2医
療機関・5名の候補者一覧が提示され、協議
の結果全員を表彰者として決定した。

(7) 会員の入会について

－濱島理事－

開業 ^{やなぎ}柳 ^や谷 ^{なお}直 ^き樹 先生

名 称：阿部クリニック

所 在 地：秋田市仁井田本町三丁目28-13

入会月日：令和6年8月1日

開業月日：令和6年8月1日

所 属 班：牛島仁井田班

一時負担金：500,000円

4 閉 会

第8回 理事会

7月25日(木)
午後6時45分
秋田市医師会館

出席 湊会長 石川・熊谷副会長 木村議長
鈴木副議長 田中 長谷山 濱島 稲
見 山崎 小松 柴田 三浦 豊田
千田 亀岡各理事 橋田・向島監事

1 会長あいさつ

今朝のさきがけ新報の一面に載っていましたが、秋田県の人口が80万人台となりました。初めて国勢調査が行われた1920年、大正9年の人口が89万8537人でしたが、今後大胆な施策がなされないことには、これからしばらくは人口は減少しつづけてしまうのではないかと危惧しています。

今日も天候が荒れ、県南の川が氾濫し、被災されています。インタビューを受けた方は、このあたりでこれまでこのようなことが起きたことはなかったと話されていましたが、昨年の秋田市の災害もそうでしたが、最近の国内外の様子をみても、これまで災害がなかったから今後もないということは、全く言えない状況になっています。早急に対策をしていかないといけないと思いました。

2 報 告

(1) 会員の退会及び異動について

－濱島理事－

退会 伊 藤 研 一 先生

(ルナメンタルクリニック)

退会月日：令和6年5月31日

所 属 班：土崎中央班

異動 増 田 豊 先生

(ルナメンタルクリニック)

異動月日：令和6年6月1日

異動事由：院長へ

所 属 班：土崎中央班

(2) 令和6年度地域医療連携推進法人 AFSS 評議員会

－湊会長－

7月12日(金) 午後6時・正和会会議室(オンライン併用)。同法人の令和5年度の事業報告、令和6年度の事業計画について説明があった。

(3) 第15回秋田市医師会功労者表彰・第 32回医療機関職員永年勤続表彰及び同祝賀 会

－山崎理事－

7月18日(木) 午後6時45分・秋田キャッスルホテルで開催。出席者：67名

功労者表彰：水沢広和先生、島田堅一先生

永年勤続表彰：20年表彰10名、10年表彰12名

(出席6名)

(4) 第2回郡市医師会長協議会

－湊会長－

7月24日(水) 午後5時・秋田キャッスルホテルで開催。秋田県医師会の役員改選後初の協議会であったことから、役員内の業務分担について説明があった。

また、診療報酬改定によるベースアップ加算について、多くの医療機関で算定いただくよう、情報提供して欲しいとの話があった。

3 協 議

(1) 秋田市医師会各種委員会委員について

－濱島理事－

標記に関する案が提出され、協議した結果、原案のとおり了承された。

(2) 秋田市との懇談会の案件要旨について

－濱島理事－

8月29日（木）午後6時45分・秋田キャッスルホテルで開催される標記会の案件要旨について確認した。案件1）「秋田市医師会大規模災害マニュアルの改訂と秋田市の災害時医療計画について」、案件2）「5歳児健診とそのフォローアップ体制整備について」、案件3）「带状疱疹ワクチン接種への助成について」の案件要旨が石川副会長、稲見・濱島理事からそれぞれ提示され、協議の結果、了承された。

また、懇談会で配布する資料（秋田市との関連がある医師会事業）を確認し、修正がある場合は事務局まで連絡することとした。

(3) 秋田市議会議員との地域医療に関する懇談会について

－濱島理事－

標記会の案件について協議したところ、秋田市の少子高齢化対策について、18歳以上の難聴者への補聴器の助成について、看護学校について、秋田市の大規模災害について、といった提案があった。内容を確認し、協議を継続することとした。なお、開催日程は11月頃を予定している。

(4) 顧問との懇談会について

－濱島理事－

標記会の案件について協議した結果、秋田市医師会の委員会等の活動状況について等とすることとした。

(5) 医療介護総合確保促進法に基づく令和7年度秋田県計画に係る事業の提案募集について

－濱島理事－

秋田県健康福祉部長から秋田県医師会長を通じて依頼のあった標記について協議の結果、今回は事業の提案を見送ることとした。

(6) 令和6年度秋田市結核予防研修会の講師の推薦について

－濱島理事－

標記について協議の結果、本間光信先生（市立秋田総合病院）に推薦候補者について相談することとした。

(7) 会員の入会について

－濱島理事－

勤務 小 松 輝 久 先生

（内科・呼吸器内科、科長）

勤 務 先：中通総合病院

入会月日：令和6年8月1日

所 属 班：中通総合病院班

(8) 薬局来局者向け、心電計付血圧計を用いた自己測定について（ご協力をお願い）

－熊谷副会長－

秋田県薬剤師会では、秋田県医師会と医薬連携の会を通じ、薬局に来局された方に対して携帯型心電計を用いた自己測定を実施し、心房細動についても啓発事業を実施してい

る。当事業の一環として、測定者から希望があった際に、本人から得た情報や測定結果をまとめ、かかりつけ医への情報提供と、かかりつけ医がない場合は、本事業に協力いただける循環器専門医をご紹介しますことについて協力のお願いがあった。協議の結果、了承することとした。

(9) 秋田市在宅医療・介護連携センター座談会「医師と本音で語り合おう」の共催について

－長谷山理事－

秋田市在宅医療・介護連携センターから、今年度の標記座談会を開催するにあたり、昨年度と同様に介護保険・高齢者安全対策委員会と共催にしたいとの依頼があった。協議の結果、了承することとした。

4 閉 会

秋田市医師会報の原稿募集について

秋田市医師会報では、原稿を広く募集いたします。会員の皆様からのご投稿を心よりお待ちしております。

○募集しているコーナー

1. 個人あるいは所属する会からの「投稿」、「報告」
2. 「新病院・診療所紹介」

(1. 2. については関連のある写真などもあわせて掲載いたします。)

- 原稿字数に制限はありませんが、約 1160 字で 1 ページになります。
- 著者校正は基本 1 回とさせていただきます。
- 原稿締切日は毎月 20 日となっております。

原稿の採否および掲載方法については会報編集委員会に一任願います。

他人を誹謗したり、品位に欠ける内容のものはご遠慮ください。匿名希望も可能ですが、投稿は実名でお願いいたします。

秋田市医師会会報編集委員会